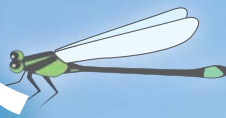


第8回 田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト

地域交流会 in 河北潟



1日目 11月25日(土)
13:30~16:30 河北潟田んぼ視察〈現地バスツアー〉

2日目 11月26日(日)
10:00~16:00 地域交流会〈津幡地域交流センター〉

参加費無料



約50年前の河北潟干拓事業やその後の農地改良事業は、地域の生態系と生物多様性に重大な影響を与えてきました。現在、河北潟の干拓地と周辺の農地では、生物多様性の保全・再生にむけた農業が展開されています。地元の津幡町ではハクチョウを町の鳥として保全しており、ねぐらや餌場を守るための冬期湛水水田が行政主導で推奨されています。このほか農地や水路を管理する土地改良区が中心となって、市民連携の農業用水路の保全活動として外来植物の除去活動が実施されています。NPOが主導して、田んぼの生きものが食べる人にも見える仕組みもつくられています。全国に広がってほしい地域のユニークな仕組みや取り組みに注目したいと思います。

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」は、生物多様性条約の締約国会議で採択された、田んぼの生物多様性向上に関する決議の内容を具体化するため、多様な取り組みの受け皿となることを目指し、ラムサール・ネットワーク日本によって立ち上げたプロジェクトです。そのなかで地域交流会は、田んぼの生きものに関心を持つ人々の輪を広げるため、環境省、農水省、地元自治体、全国各地で活動を展開する団体や個人と協力し、全国各地で開催しています。

主催 NPO法人ラムサール・ネットワーク日本
共催 NPO法人河北潟湖沼研究所
後援 環境省中部地方環境事務所、石川県、津幡町、河北潟環境対策期成同盟会
協力 河北潟自然再生協議会、グリーン・アース・農地・水・環境保全組織、河北潟沿岸土地改良区

申込み締め切り 11月15日(水)
※お昼のお弁当は有料です。
(裏面をご確認の上お申し込みください。)



現地事務局 NPO法人河北潟湖沼研究所 (担当: 高橋久)



このイベントは、平成29年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。



CO-OP ユーデリ連合会

MS&AD



ラムサール・ネットワーク日本 <http://www.ramnet-j.org/>
E-mail info@ramnet-j.org TEL&FAX 03-3834-6566